

令和5年度 門真市立総合体育館指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和4年度

施設のサービス水準の視点コメント

指定管理期間初年度である令和4年度については、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ安全に貸館と自主事業等に取り組んだこと、また、各室場で不具合が出ていた床についても、日々の点検と一時的な修繕対応で開館を継続できたことを評価する。

収支状況 コメント

収入については、新型コロナウイルス感染症が影響し、年間利用者数・利用料金収入が目標には届かなかった。支出については、同対策費用や物価高騰に伴う光熱費や施設修繕料等がやむを得ず増大しているが、引き続き黒字となっている。

感染症対策 コメント

本市の新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る要請について、迅速に対応できていた。また、開館中に従業員への指導はもちろん、利用者への丁寧な説明を実施し、クラスターの発生もなかった。今後は、マスクなしの利用者が主流となることが予想される中、各種大規模イベントの再開や利用者ニーズへの対応と感染症対策における、バランスのとれた運営を自主的に検討、実施することを期待する。

市による総合評価 コメント

アンケート調査の結果から、昨年に引き続き、総合体育館に対する施設利用者満足度は、高い評価を維持することができており、市が期待する施設運営が概ね実施できているものと判断する。

かどま市春季スポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、新型コロナウイルス感染症により何年も中止をしていたが、令和4年度については久々に開催することができ、運動習慣がなくなってしまった市民に対して、再開のきっかけづくりとなる活動を実施することができていたものと認識している。

一部の室場が稼働率が低い状態となっていたことについては、夏場の「宿題やつつけタイム」等の新規自主事業により、稼働率を改善するとともに、普段総合体育館を利用しない子どもたちにもまずは足を運んでもらえる第一歩となった。

今後は、修繕ができていないメインアリーナにおいて、移動式バスケットゴール用養生シートの運用等を丁寧に利用者へ伝えることを含め、施設の消耗を少しでも食い止めることができるよう、一層の努力を期待する。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった